

「人権の花」球根贈呈式(10.17)

2名の人権擁護委員さんにお越しいただき、「人権の花」球根贈呈式を行いました。お二人から、「なぜヒヤシンスが人権の花として育てられているのか。」のお話をいただいたり、人権に関わる紙芝居を読んでいただいたりしました。子ども達は、真剣なまなざしでお話や紙芝居を聞いていました。



なぜヒヤシンスが人権の花として選ばれたのか理由を話してくださいました。「ヒヤシンスの水栽培は、茎や花の成長とともに根の成長もよく見えます。そして、どの球根も成長には差があります。それは人間にも共通する点です。そして、ヒヤシンスは小さな花が寄り添って1つの大きな花になっています。一つ一つの花はどの花も笑って見えます。一つ一つの花は一人一人の人間の笑顔とも重なって見えますね。」



みんな一生懸命に聞いていました。自分はどんな行動をしていくのか、自分で考えていけるようになりたいですね。

紙芝居「じゅんちゃんの手紙」を読んでもう一度読んでくださいました。

「どんな時でも、どんな場面でも、大切なことは、自分の頭・目、そして心で考え、判断すること」ということを教えていただきました。

ヒヤシンスを育て、観察し、小さな変化に気づく…気づけることによって優しさの第一歩。ヒヤシンスを育てることで、自分の心も豊かに育てていってほしいですね。



ヒヤシンスの球根とお土産が全校児童に贈呈されました。



児童代表がお礼の言葉を伝えました。

